

# 2016（平成28）年度 OBOG 総会 議事録

## ①山の家の残置物について（資料1）

添付資料参照。OBOG の私物については、山の家から持ち帰ってもらうよう働きかける。依頼のあったものには処分費用 2,000 円／品を徴収し、OBOG 会で処分する。2016 年 12 月以降、持ち主がわからないものに関しては、学生課に廃棄の相談をする。現役には廃棄作業を手伝ってもらう。

Web ページに残置物の写真をアップし、OBOG に自分の私物がないか確認を求める。私物がある場合は速やかに OBOG 会まで連絡するとともに、私物をどうするか OBOG 会に伝える（9 月末×切）。私物の処理に対する選択肢は以下の 3 点である。

- ・処分費用 2000 円／品を払い、OBOG 会に処分を依頼する。（9 月末までに 2000 円／品を OBOG 会の口座に振り込む）
- ・各自で持って帰る。
- ・山の家スキーツアー（1 月 3 連休）の際に着払いで任意の場所へ送ってもらう。

山の家スキーツアー以降、残っているものは会長から学生サービス課に処分の依頼をする。

## ②年間スケジュール（資料2）

添付資料参照。各担当者より詳細説明あり。

山の家スキーツアー（3 月）の日程未定も含めて、提案通りのスケジュールで決定。

### ③部報の発送費に関して

2013 年度の総会で OBOG への発送費は OBOG 会が負担すると決まったが、昨年度、現役からの請求金額は 59,100 円であった。渡している支援金と合わせると約 160,000 円になり、毎年渡し続けていくには厳しい状況。2017 年度以降について対策を討議する。財源を確保するか経費を削減するか…他に案はないか意見を伺う。

総会の参加が難しい方にもメールで意見を求む。

メールでいただいたご意見をまとめると以下の通りであった。

- ・電子化 : 試合結果を Web に、PDF にしてメールに添付、など
- ・集金 : 部報代を集金、スポンサーを増やす、協力金を募る、など
- ・簡素化 : 住所録を削る、など
- ・発送方法: 希望者にのみ発送、など

2013 年度の総会で「OBOG とスキー部・OBOG 会との関係を維持するためにも、現役が部報を紙媒体で発行する限り、OBOG 会報を部報に載せて、OBOG 全員に送る」と決定している。そのため、電子化や発送方法などについて、今回の総会では話していない。

現役は OBOG 会計と協力し、印刷代や送料も相見積もりを取っており、これ以上支出を抑えることは困難である。OBOG 会としては、部別コンパ(11 月)や神霜祭への参加を増やし、手渡しできる人には手渡しすることで、送料を抑える工夫を行っていく。(当日の話し合いでは、会報の送料負担を全額ではなく、30000 円程度の定額にする意見も出された)

### ④40 周年記念イベントについて

40 期生が入学する 2018 年度(平成 30 年度)に 40 周年記念イベントを考えて、実行委員を設立する。

実行委員を募集し、第 1 回実行委員会を 10 月 15 日に行う。第 1 回実行員会での議題は「実行委員の顔合わせ、開催日・開催場所・内容・予算などの検討」が例として挙げられた。